

報告案件(参考資料)

令和5年7月28日

国土交通省中部地方整備局

第8回 豊川水系流域委員会における審議

- 「第8回 豊川水系流域委員会」において、豊川総合水系環境整備事業の再評価の審議を行い、「事業継続」とする対応方針(原案)が了承されました。
- 委員からいただいた主なご意見は、以下のとおりです。

【開催概要】

日時: 令和5年7月10日(月)

9:30~11:30

会場: 豊橋商工会議所

4階 406会議室

【主な議事】

- ・豊川総合水系環境整備事業の再評価
- ※豊川総合水系環境整備事業の再評価の対応方針(原案)について了承されました。



【主な意見】

- ・干潟再生の整備手法について引き続き検証・精査されたい。
- ・干潟の面積や干潟を利用する生物の生息種数を定量的に示すことも重要であるが、生物の個体数や干潟の利用者数の増加等を多面的に評価することも考えられる。

第6回 矢作川水系流域委員会における審議

- 「第6回 矢作川水系流域委員会」において、矢作ダム再生事業の再評価の審議を行い、「事業継続」とする対応方針(原案)が了承されました。
- 委員からいただいた主なご意見は、以下のとおりです。

【開催概要】

日時: 令和5年7月7日(金) 10:00~12:00
会場: TKP ガーデンシティ PREMIUM 名古屋駅前
ホール 3H

【主な議事】

- ・矢作ダム再生事業の再評価
- ※矢作ダム再生事業の再評価の対応方針(原案)について
了承されました。



【主な意見】

- ・事業完了後のダム運用について、治水・利水・環境の面から総合的に判断し、最適な運用方法を検討されたい。
- ・貨幣換算が困難な水害指標の定量化の取組は、事業の有益性を示すものとして重要であり、サプライチェーンへの影響等この地域特有の経済波及被害等についても評価指標に加えられると良い。
- ・社会情勢の変化等により、費用便益比の減少リスクが懸念される。本事業の効果は引き続き慎重に評価されたい。
- ・本事業による環境面へのリスクと効果についても評価指標に加えられると良い。
- ・本事業による効果を十分に発揮できるよう、県管理区間の整備と連携して事業を進められたい。